

1 はじめに

本校は、昨年度創立150周年を迎えた歴史と伝統ある学校です。児童会のアイデアから生まれたスクールキャラクターの「大久保ミミップ」を活用し、児童主体の児童会活動を行っている。

2 資料

(1) 1年生を迎える会

「1年生に大久保小学校を知ってもらうため、楽しんでもらえる会にしたい!」という児童の考えのもと、運営委員会がアイデアを出し合い計画を立てた。大久保小が大切にしている「あいさつ・思いやり・命・感謝」を劇で分かりやすく伝えた。また、学校のきまりをクイズにして出題するなど工夫しながら活動することができた。



(2) 児童のアイデアを生かした創立記念集会

全校で大久保小学校の誕生日のお祝いをしようと、運営委員を中心に創立記念集会を企画、運営した。「大久保小クイズ」と「歴史についての動画」を考えた。「大久保小は、たくさんの人達に支えられていることを知ってほしい。」という運営委員の願いから、地域の人達に焦点を当てたクイズを作り、「感謝」の気持ちをもって生活してほしいと伝えることができた。



(3) 人権集会と人権ウィーク

思いやりあふれる学校を目指そうというスローガンのもと、人権集会と人権ウィークを企画した。集会では、人権についてのクイズや劇を行った。また、人権ウィークでは、学年の「人権スローガン」を「人権の木」として掲げ、人権について考える週間を設けた。人権を意識した姿を見つけ、木の周りに人権の花を貼っていき、学年で一つの花を咲かせることができた。



(4) 校内スタンプラリー

運営委員の「学校のことをもっと知ってほしい」という思いから、校内スタンプラリーを行った。大久保小学校に関する10個のクイズを考え、廊下や教室、昇降口など様々な場所に設置した。全問正解へのパーフェクト賞や最多参加賞など多くの賞を準備したことで、多くの児童が参加し、学校全体が活気あふれるものとなった。児童が自分たちで考え実践することで、児童の主体的な活動に繋がった。



3 成果と課題

児童会活動を児童の主体的な取り組みにするために、児童の考えや思いをできるだけ取り入れた活動ができた。また、委員会活動では新聞や放送原稿などを作成する際にICTを活用する姿が多く見られた。今後も児童が主体的に活用できるよう、活動の目的を明確にし、計画する際は負担の少ない準備の時間を確保して、適切な助言ができるようにしていきたい。